

山の学習支援事業プログラムの実施例

対象プログラム	No.1 春の森散歩・公園散歩 No.10 森林入門！ No.14 森林×防災 No.18 木工クラフト体験
---------	---

学校名	高知市立横内小学校
学年	5年生
児童数	120名
実施場所	横内小学校体育館（事前学習）、甫喜ヶ峰森林公園（自然体験学習）
目標	森林に関わる体験活動を通して、豊かな自然の価値についても認識を高め自然環境を大切にしたいという心を育みたい。
実施教科	総合的な学習の時間：土砂災害
関連教科	社会科：国土と自然とともに生きる 理科：流れる水の働き
持ち物	帽子、タオル、水筒、筆記用具、自作ポーチ（紙と紐で作し、拾った自然素材を入れたり、直接メモとして使用できる）

実施項目	自然体験学習（散策、ネイチャーゲーム、木工クラフト）
対象プログラム	No.10 森林入門！ No.14 森林×防災 No.1 春の森散歩・公園散歩 No.18 木工クラフト体験
所要時間	事前学習 45分間 散策、ネイチャーゲーム 50分程度 木工クラフト 60分程度
実施内容	<p>・事前学習</p> <p>自然体験学習の3日前に横内小学校体育館にて、森林の働きと自然災害について45分間（1時限）の講義を受けた。講師は甫喜ヶ峰森林公園から2名。プロジェクター、講義資料（パワーポイント）、資料1枚を準備していた。講義内容は、「森林災害、森林防災、森林の働き」と「繁藤災害50年その教訓は」の2部構成であった。1部目は、災害の状況、森林の働き、地域の災害と防災、森林整備の重要性について学んだ。2部目は、繁藤災害の状況と危機管理について学んだ。最後に5分ほど質疑応答した。</p> <p>・散策、ネイチャーゲーム</p> <p>講師スタッフから挨拶の後、散策と木工クラフトの学習内容について説明を受けた。散策、ネイチャーゲームは50分程度。甫喜ヶ峰森林公園駐車場から記</p>

念碑のある広場まで、2グループに分かれてフィールドビンゴゲームを使ったネイチャーゲームをしながら森林内を散策した。水の音や動物の足跡、きのこなど16項目について確認しながら歩いた。また、児童らは、散策中に野イチゴを見つけては食べて楽しんでいた。広場に到着後、ビンゴの16項目について確認、説明をした。

#### ・木工クラフト

作業時間は60分程度。各クラスに分かれて、用意されていた木片やどんぐり、枝、目玉などのクラフト素材、ボンドやグルーガンの接着剤を使って自由に創作した。先生から以前の反省点として、人数が多いので素材を少しずつ持っていき、他の人も利用できるようにすること、作品を持って帰るので大きすぎるものを作らないようにすることなどの注意点が伝えられた。児童らは見本もなく各自が自由に素材を組み合わせ、動物や飾りなどを作っていた。

#### 実施風景



#### 補足 その他、プログラムの 特徴

・学習したことを取りまとめ、3学期（1月末）に4年生に向けて発表し、次年の5年生の学習につなげていく。社会科では「国土の自然と共に生きる」、理科では「流れる水のはたらき」、総合的な学習の時間では「土砂災害」など森林と関連付けて学習を進めている。

・理科、社会、総合学習の時間を使い、うまくテーマを組み合わせる授業の時間設定（カリキュラムマネジメント）されていた。水と森の働きについて学び、防災を通して命を守るための考えを各クラスでまとめていくとのこと。